

ラ・フォル・ジュルネ 2005 - 2017開催実績

	2005年	2006年	2007年
主催	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム
共催	-	-	-
アドバイザー・コミッティー	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会
企画制作	CREA / 梶本音楽事務所	CREA / 梶本音楽事務所	CREA / 梶本音楽事務所
オフィシャル・チケッティング・マネジメント	ぴあ	電子チケットぴあ	電子チケットぴあ
特別協力	フランス大使館、フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 ナント市、読売新聞社、日本テレビ	フランス大使館、フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 ナント市、読売新聞社	フランス大使館、フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 CULTURESFRANCE、ナント市、 読売新聞社
助成	平成17年度文化庁国際芸術交流支援事業 フランス外務省フランス芸術文化活動協会	平成18年度文化庁国際芸術交流支援事業 フランス外務省フランス芸術文化活動協会 財団法人アサヒホール芸術文化財団	平成19年度文化庁国際芸術交流支援事業 財団法人 ロームミュージックファンデーション
参加事業	愛・地球博「パートナーシップ事業」 2005年日・EU市民交流年 丸の内元気文化プロジェクト	モーツァルト2006 丸の内元気文化プロジェクト	丸の内元気文化プロジェクト
会場	東京国際フォーラム 丸の内周辺エリア	東京国際フォーラム 丸の内周辺エリア	東京国際フォーラム 丸の内周辺エリア
会期	2005年4月24日(日)～5月1日(日) [東京国際フォーラム] 4月29日(金)～5月1日(日) [丸の内周辺エリア] 4月24日(日)～5月1日(日)	2006年4月29日(土)～5月6日(土) [東京国際フォーラム] 5月3日(水)～5月6日(土) [丸の内周辺エリア] 4月29日(土)～5月6日(土)	2007年4月29日(日)～5月6日(日) [東京国際フォーラム] 5月2日(水)～5月6日(日) [丸の内周辺エリア] 4月29日(日)～5月6日(日)
テーマ	ベートーヴェンと仲間たち 日本人にはほとんど馴染みの深い作曲家ベートーヴェン。おなじみの名曲から知られざる佳曲までを彼とゆかりの作曲家たちの楽曲とともに紹介し、L.F.Jならではの音楽の楽しみ方を提案。 [主な作曲家] ベートーヴェン、ハイ든、シューベルト、 フンメル、モーツァルト、クレメンティ、 ツルニー、モシュレス	モーツァルトと仲間たち 天才作曲家・モーツァルトの魅力を、交響曲、協奏曲、室内楽曲、ピアノ曲、オペラ、声楽にわたって紹介。生誕250年にふさわしい史上空前規模のモーツァルト音楽祭として開催。 [主な作曲家] モーツァルト、ハイデン、フンメル、 クレメンティ、パッサ、ベートーヴェン、 リスト	民族のハーモニー 19世紀後半から20世紀にかけて、ヨーロッパ各地の伝承音楽に魅せられ民族豊かな音楽を生み出したエコール・ナンソール(国民楽派)の作曲家たちの名曲が集結。 [主な作曲家] チャイコフスキー、スメタナ、 ドヴォルザーク、シベリウス、グリーグ、 フアリ、フォーレ、ドビュッシー
出演者総数	1,558人	1,870人	2,264人
出演者数	海外アーティスト 462人 国内アーティスト 350人 市民・学生オーケストラ 251人 関連イベント、エアイベント 495人	767人 165人 440人 498人	813人 342人 1,109人
公演回数	総公演回数 209公演(回) ・東京・丸の内エリア、他 46公演(回) ・東京国際フォーラム(有料) 120公演(回) ・東京国際フォーラム(無料) 43公演(回)	377公演(回) 78公演(回) 145公演(回) 154公演(回)	473公演(回) 92公演(回) 181公演(回) 200公演(回)
チケット販売数(有料公演)	116,508枚	160,218枚	200,441枚
来場者数	全体 323,687人 ・東京・丸の内エリア、他 17,377人 ・東京国際フォーラム(有料) 306,310人	695,000人 205,000人 490,000人	1,060,000人 400,000人 660,000人
トピックス	◎L.F.J日本初上陸 クラシックの常識や概念を大きく打ち破ったL.F.Jがセンセーショナルなデビューを飾った ◎来場者の半数がクラシック初心者 32万人を超える来場者の50.7%がクラシックビギナー。クラシック音楽の裾野を拡大 ◎ファミリーで参加 0歳からのコンサート 小さな子どもたちにも本格的なコンサートを楽しむ機会を提供するコンサートがスタート ◎経済効果は推定41億円 直接経済効果と間接波及効果を合わせた音楽祭開催による経済効果は41億円	◎69万5千人が来場 総来場者数は69万5千人。これまでのクラシックの世界では考えられない数字を記録 ◎チケット販売率92.1% 有料公演は16万枚のチケットを販売。その販売率は92.1%となった ◎体験型プログラム「キッズ・プログラム」 子どもたちの音楽を感じる心を育む多彩なワークショップやコンサートを展開 ◎6時間わたるTV生放送 NHK-BS2 春のモーツァルトまつりが、会場内特設スタジオから全国へ向け発信	◎来場者が100万人を突破 東京国際フォーラムと丸の内周辺エリアの8日間の来場者総数が106万人に達した ◎東京国際フォーラムでの開催が5日間に有料公演、無料公演を合わせて381ものコンサートが6日間にわたって開催された ◎地上広場がコンサートホールに 誰でも気軽に音楽を楽しめる新たなステージ「ミュージック・キオスク」が登場し大盛況に ◎ワールドミュージックの演奏家も登場 クラシックの楽曲のルーツである民族音楽の演奏家たちも熱きステージを繰り広げた

	2008年	2009年	2010年
主催	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム
共催	—	—	東京都 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
アドバイザー・コミッティー	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会
企画制作	CREA / 梶本音楽事務所	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO
オフィシャル・チケットング・マネジメント	電子チケットぴあ	電子チケットぴあ	チケットぴあ
特別協力	フランス大使館、フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 CULTURESFRANCE、ナント市、 読売新聞社	フランス大使館、フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 CULTURESFRANCE、ナント市、 読売新聞社	フランス大使館、フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 CULTURESFRANCE、ナント市、 読売新聞社
助成	平成20年度文化庁国際芸術交流支援事業 財団法人 ローム ミュージック ファンデーション	平成21年度文化庁国際芸術交流支援事業 財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 財団法人 ローランド芸術文化振興財団	平成22年度文化庁国際芸術交流支援事業 財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 財団法人 ローランド芸術文化振興財団
参加事業	丸の内元気文化プロジェクト	丸の内元気文化プロジェクト	ショパン2010 丸の内元気文化プロジェクト
会場	東京国際フォーラム 丸の内周辺エリア	東京国際フォーラム 大手町・丸の内・有楽町エリア	東京国際フォーラム 大手町・丸の内・有楽町エリア
会期	2008年4月29日(火)～5月6日(火) [東京国際フォーラム] 5月2日(金)～5月6日(火) [丸の内周辺エリア] 4月29日(火)～5月6日(火)	2009年4月28日(火)～5月5日(火) [東京国際フォーラム] 5月3日(日)～5月5日(火) [丸の内周辺エリア] 4月28日(火)～5月5日(火)	2010年4月28日(水)～5月4日(火) [東京国際フォーラム] 5月2日(日)～5月4日(火) [丸の内周辺エリア] 4月28日(水)～5月4日(火)
テーマ	シューベルトとウィーン 19世紀から現代に至るまで、シューベルト自身の曲から各時代の作曲家によるシューベルトへのオマージュ作品まで、時代を超えて今につながるシューベルト像を鮮やかに描き出した。 [主な作曲家] シューベルト、サリエリ、モーツァルト、ベートーヴェン、ツォルコー、シュトラウスII世、メンデルスゾーン	バッハとヨーロッパ 後世の多くの作曲家や演奏家に尊敬され、影響を与えたバッハ。彼の膨大な作品をもとに様々な観点から、バッハを現代に蘇らせる日本ではかつてない規模のパロクの祭典として開催。 [主な作曲家] バッハ、クーラン、ヴィヴァルディ、ヘンデル、ブクステフーデ、シューマン、リスト、レーガー、ヴェーベリン	ショパンの宇宙 2010年に生誕200年を迎えたショパン。19世紀における最も革新的で天才的な作曲家である彼の音楽が生み出してきた様々な背景を再現し、広大なショパンの音楽宇宙を再構築。 [主な作曲家] ショパン、バッハ、ヘンデル、フンメル、ベルリオーズ、リスト、メンデルスゾーン、シューマン、ドビュッシー、パガニーニ
出演者総数	2,169人	1,620人	1,327人
出演者数	海外アーティスト 730人 国内アーティスト 211人 市民・学生オーケストラ 1,228人 関連イベント、エアイベント	394人 289人 937人	475人 155人 697人
公演回数	総公演回数 529公演(回) ・東京・丸の内エリア、他 119公演(回) ・東京国際フォーラム(有料) 221公演(回) ・東京国際フォーラム(無料) 189公演(回)	419公演(回) 116公演(回) 168公演(回) 135公演(回)	358公演(回) 93公演(回) 174公演(回) 91公演(回)
チケット販売数(有料公演)	181,724枚	137,094枚	140,915枚
来場者数	全体 1,004,000人 ・東京・丸の内エリア、他 364,000人 ・東京国際フォーラム(有料) 640,000人	711,000人 300,000人 411,000人	807,900人 387,900人 420,000人
トピックス	◎ラ・フォル・ジュルネ学校へ行く 千代田区内小学校を演奏家が訪れワークショップを行うアウトリーチ活動を実施 ◎ボランティアが会場運営に参加 会場運営スタッフとしてボランティアを募集。 心のかもお対応が高い評価を受けた ◎LFJの委嘱によるオリジナル作品初演 国内外3名の現代の作曲家にシューベルトへのオマージュ作品を委嘱 ◎金沢が世界で6番目のLFJ開催都市に 石川県立音楽堂と金沢市アートホールを中心に7日間・139公演が開催された	◎中高生席を新設 ホールAの一部公演の席を中高生を対象にワンコイン500円で販売 ◎ホールAでサービス映像を提供 後方の来場者まで演奏家の表情や手元を楽しめるようステージ脇に大型スクリーンを設置 ◎5周年記念前夜祭 スペシャルコンサート LFJ 5年間の歩みを一挙に巡る一夜限りのスペシャルコンサートを前夜祭として開催 ◎エコアドバイザーが活動 東京国際フォーラムの環境保全活動の一環として社員がエコアドバイザーを務めた	◎東京都との共催 東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団との共催による開催が決定 ◎音楽祭の輪が更に広がる 東京、金沢に次いで、新潟市、ひば湖でのLFJの開催が決定 ◎新音楽祭タイトル・ロゴ アートディレクター佐藤可士和氏による新しい音楽祭タイトル・ロゴ誕生 ◎今年もオリジナル新企画が登場 クレール・オブスキュール、福袋コンサートとLFJ会場でも楽しみながらコンサートを実施

	2011年	2012年	2013年
主催	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム
共催	東京都 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)	東京都 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)	東京都 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
アドバイザー・コミッティー	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会
企画制作	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO
オフィシャル・チケットング・マネジメント	チケットぴあ	チケットぴあ	チケットぴあ
特別協力	三菱地所、フランス大使館、 フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 ナント市	読売新聞社、三菱地所、フランス大使館 フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 ナント市	読売新聞社、三菱地所、フランス大使館 フランス外務省 フランス文化・コミュニケーション省 ナント市
助成	公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション	公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション	笹川日仏財団 公益財団法人 ロータン芸術文化振興財団 公益財団法人 ローム ミュージックファンデーション Palazzetto Bru Zane財団 Nantes Just Imagine
参加事業	日独交流150周年認定事業 丸の内元気文化プロジェクト	丸の内元気文化プロジェクト	丸の内元気文化プロジェクト
会場	東京国際フォーラム よみうりホール 東京・丸の内エリア	東京国際フォーラム よみうりホール 東京・丸の内エリア	東京国際フォーラム よみうりホール 東京・丸の内エリア
会期	2011年4月28日(木)～5月5日(木) [東京国際フォーラム、よみうりホール] 5月3日(火)～5月5日(木) [東京・丸の内エリア] 4月28日(木)～5月5日(木)	2012年4月27日(金)～5月5日(土) [東京国際フォーラム、よみうりホール] 5月3日(木)～5月5日(金) [東京・丸の内エリア] 4月27日(金)～5月5日(土)	2013年5月3日(金)～5月5日(日) [東京国際フォーラム、よみうりホール] 5月3日(金)～5月5日(日) [東京・丸の内エリア] 5月3日(金)～5月5日(日)
テーマ	タイタンたち 1850年から1950年までの約100年間、ブラームスからリヒャルト・シュトラウスを経て新ウーン楽派にいたる音楽史の大きな転換期である後期ロマン派の潮流に焦点をあてた。 [主な作曲家] ブラームス、リスト、マーラー、 R.シュトラウス、シェーンベルク、 ブルックナー	サクル・リュス ロシアが誇る大作曲家であるチャイコフスキー、ラフマニノフのみならず、ロシア音楽の源泉であるロシア正教から20世紀の現代作曲家たちまで、ロシア音楽の壮大なパノラマを展開。 [主な作曲家] リムスキー＝コルサコフ、チャイコフスキー、 ラフマニノフ、ストラヴィンスキー、 プロコフィエフ、ショスタコーヴィチ	バリ、至福の時 19世紀後半から現代まで、バリエーション豊かなフランス、スペインの作曲家たちを取り上げ、その色彩あふれる、情熱みなぎる50年間にわたる音楽パノラマを繰り広げた。 [主な作曲家] ビゼー、サン＝サーンス、ドビュッシー、 ラヴェル、フォーレ、プーランク、 メシアン、アルベニス、ファリャ
出演者総数	1,342人	2,097人	2,170人
出演者数	海外アーティスト 128人 国内アーティスト 482人 市民・学生オーケストラ 732人 関連イベント、エアイベント	703人 554人 840人	628人 437人 1,105人
公演回数	総公演回数 274公演(回) 東京・丸の内エリア、他 99公演(回) 東京国際フォーラム(有料) 90公演(回) 東京国際フォーラム(無料) 85公演(回)	351公演(回) 118公演(回) 159公演(回) 74公演(回)	344公演(回) 121公演(回) 135公演(回) 88公演(回)
チケット販売数(有料公演)	45,145枚	122,610枚	138,014枚
来場者数	全体 220,774人 東京・丸の内エリア、他 74,774人 東京国際フォーラム(有料) 146,000人	約 460,000人 約100,000人 約360,000人	約 510,000人 約100,000人 約410,000人
トピックス	◎東日本大震災復興支援を応援 とどけ!音楽の力 広がれ!音楽の輪の 合言葉のもと、復興への願いを込め開催 ◎点から、面へ本格展開 新会場・よみうりホール、有料公演アーティストの出演等、東京・丸の内エリアがさらに充実 ◎音楽大学との連携強化 公演への音大生の出演、キッズ・プログラムへの制作協力等、連携を深める展開を図った ◎日本5都市でLFJ開催 鳥栖市での開催が決定。ロマン派の200年にわたるドラマが5都市にわたって繰広げられた	◎世界9都市共通テーマ 国内外すべてのLFJが、初の共通テーマ「サクル・リュス」で開催 ◎エリアの音楽祭としてさらに充実 丸の内エリアで働く方々にはLFJとクラシック音楽をより身近に感じていただく新企画を実施 ◎音楽祭ボランティアを一般公募 【LFJボランティア2012】を広く一般から募集。高校生3名を含めた157名が参加 ◎若い世代を応援 音大生、キッズ、ユースの音楽心を育成する数々のプログラムを展開	◎丸の内エリアと緊密な一体感を醸成 初の同一日程での開催、LFJ2013オフィシャルガイドの発行、エアコンサートの新なる充実 ◎フランチエモで音楽祭の開幕を飾る 有楽町駅前広場、丸ビル、東京国際フォーラムで、ボレロによるフランチエモを実施 ◎音楽祭を支援する新たな仕組みづくり クラウドファンディングによる個人協賛を募り、225名の方々からご支援をいただきました ◎新たなチケット商品の発売 「日パスポート券」、セッ券の販売により、音楽祭の新たな楽しみ方を提案

	2014年	2015年	2016年
主催	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム	東京国際フォーラム
共催	東京都 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)	東京都 アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)	東京都 アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団)
アドバイザー・コミッティー	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会
企画制作	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO	CREA / KAJIMOTO
オフィシャル・チケットング・マネジメント	チケットぴあ	チケットぴあ	チケットぴあ
特別協力	千代田区、読売新聞社、三菱地所 在日フランス大使館 / アンステイチュ・フランセ日本 フランス外務省、フランス文化省 ナント市、Folle Journée Futurs	千代田区、三菱地所 在日フランス大使館 / アンステイチュ・フランセ日本、ナント市	三菱地所、 在日フランス大使館 / アンステイチュ・フランセ日本、ナント市
助成	公益財団法人ローム ミュージックファンデーション 公益財団法人ローランド芸術文化振興財団	公益財団法人ローム ミュージックファンデーション	公益財団法人ローム ミュージックファンデーション
参加事業	日仏文化協力90周年 丸の内元気文化プロジェクト	丸の内元気文化プロジェクト	丸の内元気文化プロジェクト
会場	東京国際フォーラム よみうりホール よみうり大手町ホール 東京・丸の内エリア	東京国際フォーラム よみうりホール 大手町・丸の内・有楽町エリア	東京国際フォーラム 日比谷野音(日比谷公園大音楽堂) 大手町・丸の内・有楽町エリア
会期	2014年5月3日(土)～5月5日(月) [東京国際フォーラム、よみうりホール、 よみうり大手町ホール] 5月3日(土)～5月5日(月) [東京・丸の内エリア] 5月3日(土)～5月5日(月)	2015年5月2日(土)～5月4日(月) [東京国際フォーラム、よみうりホール] 5月2日(土)～5月4日(月) [大手町・丸の内・有楽町エリア] 5月2日(土)～5月4日(月)	2016年5月3日(火)～5月5日(木) [東京国際フォーラム] 5月3日(火)～5月5日(木) [日比谷野音] 5月4日(水)～5月5日(木) [大手町・丸の内・有楽町エリア] 5月3日(火)～5月5日(木)
テーマ	10回記念 祝祭の日 これまで音楽祭を彩った10人の作曲家とその仲間たち が東京国際フォーラムに大集合。クラシック音楽を代表する顔ぶれは多い、10回目を祝うにふさわしい豪華なLFJが繰り広げられた。 [主な作曲家] ヴァイヴァルディ、モーツァルト、ショパン、 ベートーヴェン、シューベルト、ブラームス、 チャイコフスキー、ドヴォルザーク、ラヴェル、 ガーシュウィン	PASSIONS パシオン 魂の奥底から放たれる強い感情《パシオン》の入口となる3つの扉として「恋」折戻し「のち」を設定。ルネッサンス期から20世紀初頭までの400年間にわたる広大な音楽世界が展開。 [主な作曲家] J.S.バッハ、ショパン、リスト、 ベートーヴェン、ブラームス、 ラフマニノフ、スクリャーピン、メシアン	la nature ナチュール - 自然と音楽 ルネッサンスから現代、ポスト・クラムカルまで、500年にわたる音楽史の中から、季節、風景、動物、天体、天地創造等の観点から選曲。驚きと発見とイマジネーションに満ちた音楽の旅を楽しんだ。 [主な作曲家] ベートーヴェン、ドビュッシー、シューマン、 シューベルト、チャイコフスキー、 グリーグ、ラヴェル、ヴァイヴァルディ
出演者総数	2,261人	2,344人	2,330人
海外アーティスト	573人	518人	555人
国内アーティスト	328人	471人	295人
市民・学生オーケストラ	1,360人	1,355人	1,480人
関連イベント、エアイベント			
公演回数	366公演(回)	395公演(回)	340公演(回)
東京・丸の内エリア、他	137公演(回)	166公演(回)	143公演(回)
東京国際フォーラム(有料)	147公演(回)	135公演(回)	134公演(回)
東京国際フォーラム(無料)	82公演(回)	94公演(回)	63公演(回)
チケット販売数(有料公演)	151,001枚	122,375枚	114,222枚
来場者数	約 612,000人	約 427,000人	約 429,000人
全体	約181,000人	約60,000人	約63,000人
東京・丸の内エリア、他	約431,000人	約367,000人	約366,000人
東京国際フォーラム(有料)			
トピックス	◎開催10回をみんなで祝う 開催10回を記念するプログラムを多彩に展開し、祝祭感に満ちあふれた空間を創出 ◎特別追加公演「祝祭の夜」 アルゲリッチ、クレールなど世界的演奏者たちによる夢の共演に5,000人が酔いおぼれた ◎新たな有料公演会場 よみうり大手町ホールが有料公演会場に加わり、室内楽と合唱を中心に5公演開催 ◎千代田区との連携プログラム 今年から特別協力に加わった千代田区との連携により多様なプログラムを繰り広げた	◎生まれ変わったLFJ 2015年より、人間の文化を貫く普遍的なキーワードをテーマとすること一新 ◎LFJならではの新しい音楽体験 時代やジャンルを超えたLFJならではの発見と驚きで満ちた新しい音楽体験を届けた ◎若い世代を応援 時代やジャンルを超えたLFJならではの発見と驚きで満ちた新しい音楽体験を届けた ◎若い世代を応援 U-25割引をはじめ、未来の音楽シーンを支える若い世代を応援する取り組みを展開 ◎ホールB7に大型スクリーンを設置 大型スクリーンを舞台両袖に設置し、公演をより楽しんでいただける環境をお客様に提供	◎さらに自由に、多様性の音楽祭へ 民族音楽も現代音楽も古楽も同居する世界にふたつとび音楽空間が繰り広げられた ◎日比谷野音で初開催 緑に囲まれた開放感一杯の会場で自然と一体になって音楽を楽しむ時間を提供 ◎更に多くの方が音楽を楽しみいただけるLFJに 熱狂の日フランス先行発売システム利用料、公演チケット価格の見直し等を実施 ◎より地域に根ざした音楽祭をめざして 丸の内内通、日比谷公園等を新たな会場に加え、地域との連携をさらに強化

2017年	
主催	東京国際フォーラム
共催	—
アドバイザー・コミTEE	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 熱狂の日音楽祭実行委員会
企画制作	CREA / KAJIMOTO
オフィシャル・チケット・マネジメント	チケットぴあ
特別協力	三菱地所、 在日フランス大使館 / アンステイチュ・フランセ日本、ナント市
助成	公益財団法人ロームミュージックファンデーション
参加事業	丸の内元気文化プロジェクト
会場	東京国際フォーラム 大手町・丸の内・有楽町エリア
会期	2017年4月29日（土）～5月6日（土） [東京国際フォーラム] 5月4日（木）～5月6日（土） [大手町・丸の内・有楽町エリア] 4月29日（土）～5月6日（土）
テーマ	ラ・ダンス 舞曲の祭典 ルネサンスから今日まで600年間にわたる舞曲とリズムの パノラマを展開。日本クラシック史上最大級となる舞曲の 祭典としてワクワクするような躍動感と爆発的なエネルギー が会場全体にみなぎった。 [主な作曲家] ショパン、ブラームス、バッハ、リスト、 フアリ、チャイコフスキー、バルトーク、 ストラヴィンスキー、ラヴェル、ピアソラ
出演者総数	2,501人
出演者数	海外アーティスト 475人 国内アーティスト 605人 市民・学生オーケストラ 1,421人 関連イベント、エリアイベント
公演回数	326公演(回)
公演回数	東京・丸の内エリア、他 135公演(回) 東京国際フォーラム(有料) 122公演(回) 東京国際フォーラム(無料) 69公演(回)
チケット販売数(有料公演)	115,778枚
来場者数	全体 約422,000人 東京・丸の内エリア、他 約66,000人 東京国際フォーラム(有料) 約356,000人
トピックス	◎LFJでしか体験できない音楽の世界 クラシックの傑作から、タンゴやブラームス、和太鼓 やジャズまで、多彩なプログラムが相白押し ◎参加型スペシャルプログラム ホールEキオスクステージで子どもから大人まで 踊って楽しめるスペシャル企画を実施 ◎生まれ変わった地上広場イベントステージ 地上広場キオスクイベントステージへと進化し 多彩な企画とフレッシュな演奏が繰り広げられた ◎LFJチケット販売サイト 誰でもいつでも手数料無料でチケットを購入 できるオフィシャルチケット販売サイトを開設